

「ユーザーファースト」で考える要求抽出ワークショップ【オンラインライブ】

(4120351)

ユーザーのことを第1に考える”ユーザーファースト”による、問題分析～課題の見える化～解決のアイデア出しとその検証までの一連の流れを、現場で起きている事例をもとにワークを通して学びます。実際に一連の流れを動かすことで、”ユーザーファースト”を実現するためのツールや手法を使いこなせるようになります。

※解決策立案のための情報収集用に、PC、スマートフォン等を使用しても構いません。

開催日時	2020年11月19日(木) 13:00-17:00ライブ配信
カテゴリ	事業戦略策定・事業戦略評価 業務遂行スキル ヒューマンスキル
講師	大脇 齊 氏 (Ridgelinez株式会社 Realization and Integration) 1988年 富士通株式会社入社。 2003年より、最新の技術・手法を実践し、社内に展開する業務に従事。 2013年 社内システム開発にアジャイル開発を採用し、自ら実践。その経験から得られた知見を活用し、社内へのアジャイル推進（講座開催、現場支援）活動中。その中でも、超上流からUX向上を目指した活動に注力。 2016年 認定スクラムマスター取得。 2020年 Ridgelinez株式会社に出向
参加費	J U A S 会員/ITC : 22,500円 一般 : 28,700円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	要求定義、企画業務に携わる情報システム部門、情報グループ会社の方 ユーザーが真に望んでいることを理解し、システム開発につなげたい方 初級
開催形式	オンライン ライブ配信
定員	12名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9465
ITCA認定時間	4

主な内容

オンラインライブセミナーについて、本ページ下部にご案内いたします。お申込の前に、必ずご確認ください。

本講座は、Zoomを使って、講師とともにワークショップ形式で進めます。

ユーザーファーストとは、ユーザーの言う通りにする、ということではありません。

ユーザーにとって本当にためになることは何か、を常に考えることです。

本講座では、ユーザーファーストで考える事の意味、それをどのように実現するかを学び、

さらにワークを通して実践することで、ユーザーファーストの考え方を現場で活かせるようになります。

講義：

- －なぜユーザーファーストなのか
- －問題分析・課題の見える化の勘所

演習：

社内ヘルプデスクの問題を題材にし、課題の見える化から解決策の立案までを体験

- － ペルソナの設定
- － カスタマージャーニーマップによる問題分析と解決のアイデア出し
- － 解決のアイデアをカスタマージャーニーマップで効果検証

<<JUASオンラインセミナーについて>>

- ・講師は自宅/会社環境からリモートにて配信しております。
- そのため、生活音、雑音が入る可能性があります。予めご了承ください。
- ・データテキスト配布については各案内をご確認ください。
 - ・紙媒体のテキスト配布はございません。
 - ・ご受講に必要なPC等のハードウェアや通信環境は、ご受講者様ご自身でご用意ください。
 - ・動画や画像、音声の撮影、録画、録音は一切禁止とさせていただきます。
 - ・キャンセル規定は「JUASセミナーキャンセル規定」と同様になります。

<<ライブセミナーご受講に際してのご注意>>

- ・ツールは、ZOOM (<https://zoom.us/>) を利用いたします。
- ・ZOOMミーティングID・PWは、ライブセミナー開催日前に受講票にてご案内いたします。
- ・ブラウザまたは、ZOOMをダウンロード（無料）したPCをご利用ください。

ZOOMの紹介>>><https://zoom.us/>

ZOOMダウンロード>>><https://zoom.us/signup>

- ・ユーザー名は、「お名前（漢字フルネーム）」に設定してください。
- ・セミナー当日は、15分前から受付開始いたします。待機室に入ってお待ちください。事務局にて、お名前を確認させていただきます。
- ・ご参加の方には自己紹介（顔出しを含む）をお願いしております。皆様が不安を感じない環境で開催をするための対応となりますのでご協力ください。
- ・講座によって、ご発言していただく場合や各ツール機能を利用する場合がございます。講師の指示にあわせて操作や切り替えをお願いいたします。また、ご参加時の環境にご配慮ください。